

第 66 回京都大学 11 月祭第 7 回全学実行委員会

2024 年 10 月 12 日（土曜日）

【注意事項】

- 注意 1 本会議のレジュメは、参加者に配布しております。
- 注意 2 本会議のミーティングの URL やパスワード、レジュメや議事録のパスワード(ある場合)を他者に共有する行為は行わないでください。
- 注意 3 発言を希望する際には挙手をしてください。議長が発言者を指名するので、指名されてから発言してください。
- 注意 4 発言時には、団体名あるいは団体名と、氏名を述べるようにしてください。議事録作成中は、発言者を団体名あるいは企画名、氏名で記録しますが、閉会後に議事録が共有される際には、委員長および全学実行委員会内の組織、全学学生自治会同学会内の組織等を除いては、アルファベットなどで置換します。
- 注意 5 本会議の円滑な進行を妨害する行為が確認された場合、当該行為を行った者に対して、委員長が退場を命じることがあります。
- 注意 6 本会議において、会議参加者に無断で録画・録音する行為は禁止されています。
- 注意 7 議決・承認は、対面参加者は拍手で行います。
- 注意 8 議決・承認後に離席者からの意見があれば、受け付けるものとしますが、その扱いについては個別に判断します。

(Zoom 参加者)

- 注意 9 表示名は、「団体名_氏名」あるいは「企画名_氏名」としてください。個人の場合は氏名のみで構いません。
- 注意 10 発言時以外は、マイクをミュートに設定してください。
- 注意 11 議決・承認は、Zoom の「手を挙げる」機能を使用して行います。
- 注意 12 議決・承認において、離席者が存在するために会議参加者の一部または全部からの応答が得られない場合には、応答がない者を除いて議決・承認を行います。ただし、議決・承認後に当該離席者からの意見があれば、受け付けるものとしますが、その扱いについては個別に判断します。
- 注意 13 本会議は、本日 21:00 には閉会します。

【議事録】

開会時刻 11:00

閉会時刻 17:30

委員長：開会する。議長の芳賀である。(注意事項読み上げ)。「11 月祭における『京大ミス・ミスターコンテスト』企画について」という議事が事前に提出されています。本日の議事案についてご異議等あるか。ないので、そのように進む。

委員長：提起者の方は参加していますでしょうか？

A： 主催の方で参加しているか調節してほしい。急遽オンライン開催になったこともある。

事務局：今日は文学部第三講義室を使用する予定だったが、諸事情によりオンラインでの開催となった。今回の議題に関する方には連絡済みである。事務局側で調整すべきことは済んであるつもりである。

A： 調整の仕方には疑問があるが、参加者が増えているため、再度確認してほしい。

委員長：ほかに何かあるか。団体で参加されている方は、団体名に変えてほしい。再度確認する。提起者はいるか？

B： 提起者だ。提示したレジュメを映してほしい。

事務局：モニターには議事録だけを映して進めたい。議事に関する該当団体は zoom 上で団体名を明らかにしてほしい。

B： 議事録のみを映す方針は理解した。

委員長：議事を進める。

B： 「11 月祭における『京大ミス・ミスターコンテスト』企画について」を読む。(読み上げ)。

委員長：本議題は進め方の確認をする。レジュメの 1,2 に相違がないか確認。3 の論点以外になにかあるかを確認したあとに、そのように進める。各論点に先に最長時間を定めてから順番に話し合う。時間切れになった論点、他の論点について議論が終わった後再び戻って確認する。最後に承認について、すべての論点について話し終えたあとに、賛成決議がとられる場合でも、反対決議がとられる場合でも、一部内容を変更するなどの場合でも、原則全会一致での承認を目指す。これについて何かあるか？

A： 2 に意見がある場合は、3 の論点のところで発言すればよいか？

委員長：その認識でよい。2 については、C の企画の意図の事実確認である。3 で議論を行いたい。

C： 中止を求めることで全会一致をとるということか？

委員長：中止の場合でも、実施の場合でも、全会一致を目指すということだ。この場で取れない場合は、議論を続けていくことになると思う。進め方について何かある

か？

事務局：団体名を正式なものに変えてもらってもよいか？

C： 他団体と名前の冒頭がかぶるため、略称にしている。

委員長：なにかあるか？1つ確認だが、本件のデッドラインについて何かあるか？

事務局：本日中に議論を終えることができたなら、円滑に11月祭が開催されると考える。

委員長：その認識で進める。内容の1,2について、何か事実の相違があるなどの意見があるか？

C： 2のDで名称だが、あくまで一般論でミスは英語圏で「～さん」という呼びかけという意味である。一例で、ミスタ日テレというようなものがある。それを追記してほしい。

委員長：名称の件は3のBで扱うことになると思うが、他に何かあるか？他に1,2で何かあるか？レジュメの3に移る。本レジュメに記載されている論点以外に何かあるか？

A： 何点かあり、1つ目は、2のAで、目的とミス・ミスターコンの名前をこだわるのがつながっていない。もう少し説明してほしい。2点目は、2のCで性は柔軟な対応と書いてあるが、自らのアイデンティティを公開させる、アウティングを強要させることは、論外だと考える。3点目、全体的にCの企画の内容やのCのインスタグラムの投稿でジェンダー平等などが書かれているが、主催の中でどこまで議論しているのか確認したい。ほかに論点がでたら、言いたい。

委員長：今の論点に意見になにかあるか？

C： 3点だと思うが、1点目はレジュメに書いてあると考える。英語圏の使い方を考えて、使っている。2点目強要はしてない。参加者は自主的に来ている。参加者から不満の声は出ていない。3点目は11月祭のステージで見てもらいたい。インスタの投稿には焦点を当てていない。

委員長：論点を今あげているだけである。論点の整理についてのみ行う。

C： 理解した。

委員長：ほかに何かあるか？Aの論点に確認したい。1点目について、3のBの名称問題で扱いたい。2点目について、3のAのジェンダー分離の箇所でも扱いたい。その方向でよいか？

A： 議論しやすいならその方針でよい。論点として独立するぐらい重要だと考えたため、発言した。進行しやすいようであればその方向で任せる。

委員長：論点を確認する。4点である。3のA,B,Cに加えて、ジェンダー平等について加えたい。Aと合わせることも可能だが、何か意見はあるか？

A： ジェンダー平等ではなく、主催側がどれぐらいジェンダー平等やルッキズムについて理解しているのか、どう主体的に考えているのかという論点だと思う。

委員長：確認だが、どれぐらい主体的に考えているのかを知りたいという意味か？

A： その意図だ。

- 委員長：この企画の開催の可否に関しては、どれぐらい主体的なのかは、3つの論点の議論の中で見えてくると考えている。主体性について、論点を設けるというよりは、3つの論点のなかで見えてくるものだと考える。3つの論点を扱うことでよいか？
- A：一旦それで問題ない。Cの今後の議論の仕方次第だと思うので、現時点で確約は出来ない。3つの論点について議論の後、そのあとに思うことがあれば言わせてもらう。
- 委員長：それ以外に異議・質問などがある人はいるか。3つの論点を順番に話し合う。進め方に何かあるか？ないので、まず初めにAに移る。本論点は最大に2時間程度を求める。その後時間が足りない場合は、他の論点に移ったあとに、最後にまた行う。Aに移る。何かあるか？
- A：Cの性差別的な在り方に驚いている。男女に分離して、Cがミスコンを開催しようとしていることは把握した。現状、ジェンダーや身体的な性のあり方は、男女できっぱり分けれるものではない。セクシャルマイノリティの方々はこの企画に参加しようと思ったとき、どちらかの方に無理やりはめさせられるであったり、自らの性のあり方についてアウティングを強要させられることが構造的に存在している。Cは現時点で不満がでていないといっているが、今の話はしていない、差別的な構造が問題である。この人たちは社会の差別構造は何も考えていないことを理解した。「現在の潮流として～」と言っていたが、差別問題に関して、向き合っていない状態。
- C：わかりやすく言ってほしい。希望する場合は、柔軟に対応する。相談していただければ、問題ないと思う。
- A：相談＝アウティングである。アイデンティティを言う義理はないと考える。今問題ないと言っていたが、それが問題だと考える。
- C：とらえ方はいろいろあると思う。性別に限らず、多くの環境で行っている。強要はしていない。理解の違いだと考える。
- A：確認だが、2のCは男性女性に分かれると書いてある。インスタを見ていても、男女で分けている。申し込みで、どちらかを選んでいると考える。選択させたり、自らの性のあり方を述べさせたりしている構造になっている。男女ではない、別のカテゴリーがあったときに、ある種明示的になると考える。社会にはセクシャルマイノリティへの差別があり、その中で、この企画はあり方を開示させる構造になっている。C側はあまりにも無理解だからという観点もあると思う。いくらでも説明したい。
- C：選択はない。個別に面談をして決定している。
- A：個別に面談しているのはよいが、企画に参加する段階において、何等かの性のあり方を言わないとどうしようもない状況である。男女で分けてカテゴライズをして参加者を出しているのは、無意識かもしれないが、性の差別的なように見える。3のBやCに関連することもあるためここで区切る。

- C：開催にあたって、選択している形式については事前に参加者に説明している。次の議題に移ってもいいのかと感じる。
- A：Cのセクシャルマイノリティやジェンダー分離の問題については、真剣に取り組むような姿勢を見られないことははっきりした。差別コンテントだと感じた。ステージが主体なのでと逃げられたが、インスタグラムのプロフィールにジェンダー平等だを書いてあるが、主題からはかけ離れている。社会構造に向き合うどころか、いったん書いておけといった醜悪な状態を見て取れる。
- A：Aのところで論点を出したく、セクシャルマイノリティの話をとくさんしたが、ミスコンでの女性の客体化についても述べる。Cは大学のイメージで話しているが、女性差別やルッキズム至上主義の価値観が横行している世の中において、このような趣旨の企画（ミスコン）で、女性を上げるのはよくない考える。ミスコン側は参加者が自主的に出ているため問題ないとしているが、ミスコンのような企画をあげて、外見でジャッジしていいという価値観が生まれうる環境は危険であるとする。外見をジャッジすることに批判的でない現状、誤解されるのは嫌だ、みたいな態度では、そのような問題を助長させてしまう。女性差別の話をしている。このような話をしていると男性差別でないかと返されることもあるが、基本的に抑圧されている性について話している。男性の中でのルッキズムの問題がないわけではないが、現状の社会ではびこっている女性に対するルッキズムの話をさせてもらった。
- C：一つ一つで話したい。1点目について、差別構造はなく、たまたま今年男女を分けて行うことになったということである。2点目について、そもそも外見に基づいて評価することを前提としていない。3点目について、女性だからといって服装などの指定をすることはないので、問題ないと思う。
- A：一点目の差別構造がないという意見だが、差別は当人の意図だけで決まる問題ではない。Cに所属する方に内なる差別意識があると感じた。今年たまたまいなかったと言っていたが、進んでセクシャルマイノリティの方が参加したいと思うのか？
- C：目的はPRである。誰でもでられる。参加の段階で説明している。差別というのは見間違いだと考える。
- A：埒が明かない。見間違いというのはおかしい。問題意識持っている人に対して、考え方が違うということ自体が差別的。向き合う気がない企画は通らない。全会一致は通らないと考える。
- C：理由を開示したうえでの発言である。議論と直接関係あるわけではないが、昼休憩はあるか？
- 委員長：お昼休憩だが、このAについて話し合ったあとにしたい。最長で13:46までである。話し合いが長引けば、である。早めたいなら、その旨を言ってほしい。お昼休憩は1時間程度。

C： 13 時で取れたら理想。

委員長：ほかに何かあるか？特にないのであれば、13 時を目安として、お昼休憩を 1 時間取りたい。この意見に何かあるか？ないので、そうする。本会議では、全会一致を目指す。挑発行為はやめてほしい。合意形成に向かいたい。3 の A に戻す。

A： ニーズや目的を読んでもくれと言っていたが、広報や PR のために、ミスコンという言葉を使う。ミスコンという言葉に知名度があるからと言っていたが、構造的な差別が存在する企画を実施するに足る論拠だと思えない。基本的に差別的であると感じた。目的や理由で、ミスコンという名前を使うことと一致していない。目的も差別的。

C： 議長から本会議は合意形成の場だとあったが、こちらとして説明できることはしたので、提案のような形で議論を進めたい。

A： 提案としては、目的や理由で、ミスコンという名前を使うことと一致していない。自分は少なくとも論点の A で問題と思っていることが多くある。ただし主催側は問題でないと考えている。提案としてこの企画を行うことを取り下げしてほしい。

C： 企画を取り下げるという提案があったが、企画として、募集の段階で差別が起こらないようになっている。その提案はのめない。

A： 少なくともセクシャルマイノリティや女性に対して、差別な構造が存在すると感じた。目的や理由というよりも、実施形態に差別構造があると考え。私は納得できないが、仮にこの企画が差別的でなくなったとしても、現状社会にある差別や抑圧に対して追認する、存在している差別を解消する働きにはならないと考える。このまま実施すると、結果的に差別が生まれるようになる。本企画は取り下げていただきたい。

C： 取り下げはのめない。差別構造ではない説明した。それが起きないことは説明した。お昼休憩は 1 時から？リンクは変わらないか？

委員長：話し合いのキリがいい 13 時ごろを目安に昼休憩。リンクは同様のものを利用する。話を戻す。

C： こちらとしては追加で意見はない。

委員長：何かあるか？ないようだ。A について、他に何かあるか？

B： 差別構造は意図の問題ではない。枠組み自体が、差別構造や差別を助長している。主催がしていないという意見は通じない。

C： 内容を聞く限り、一般の人の見え方になると思う。11 月祭のステージにきたらわかると思う。募集の段階で差別構造がないようにしている。

A： 論点 C に絡んでしまうが、ステージや企画募集で言ったぐらいでは、差別は簡単になくならない。これでなくなるなら、差別はないと思う。ある種小手先ではどうにもならないのが、差別構造。それを理解してほしい。

C： 前提だが、全学実行委員会であり、社会の差別に対して何かするわけではない。11 月祭での話をしたい。

- A： 大学は、公共性の高い場所。特に学祭は、特に公共性が高い。大学には様々な属性の方がいる。学術研究機関である大学は、社会からの目がある。社会に対して、大学という場で行われている言葉や行動が意味を持つことになる。学祭の場だけで社会の差別について話せると思う。なぜなら、大学とそこでおこわれている行為や言動は、社会と密接にかかわっている。C がやろうとしていることは、大学の中で現在抑圧に苦しんでいる人だけでなく、11 月祭に来場される方やインターネットや口コミで見た人に非常に大きな影響を与えるということを自覚してほしい。学祭の範囲内の話ではない。
- C： どこまでが範囲の範疇なのかは、司会の方に判断してほしい。企画が来場者や見る人には、誤解のないようにすることは考えている。こちらから、世の中全体に何かを働きかける意図はない。
- A： 学祭の範疇に関しては、事務局だけ持つ話ではない。構造は、意図から切り離されるものだ。そこは何回も言わせてもらう。B の発言も見てほしい。
- C： 司会は全学実の方がやっている。与える影響については、きちんと管理している。問題ない。
- 委員長：影響について補足する。第 1 回の全学実行委員会では、全学実の性格について「当実行委員会は京都大学 11 月祭に参加する意思を有するもの全員の多様な意思に立脚して」と承認取られている。今後の議論はそのような範囲にしてほしい。
- C： 委員長の発言は理解した。
- 委員長：A について何かあるか。この話についてなにかあるか？ないようであれば、お昼休憩をとりたい。今の時点で言いた人はいるか？
- C： 残り 10 分ほど、考える時間があってもよいと思う。
- 委員長：考えるとはなにか？A の話か？全体か？
- C： B の話だ。
- 委員長：A はまだ話が進んでいない。合意形成がされていない。お昼終わりに A の話を再度する予定だ。B に移ると、論点が複雑になる。
- A： A は終わってない。A を続けた方がいい。合意形成をどうとるのは非常に難しい。何回も言うが、意図と構造は全く別のレイヤーのものである。B にもつながるが、構造というのは、相当な努力だったり、主催の中だけではない。学祭の範疇に限っても、学祭参加者の意識や行動を変えようとしないと、構造が変わることはない。もしよろしければ、今ある社会の差別について調べてみてほしい。構造の問題を話しているが、C の方は「意図はない。工夫する。」と言っているが、解決にならない。合意形成は、この観点をどうにかしないと解決しない。個人的にも議論を円滑に進めたいが、この観点を乗り越えないといけない。
- C： 構造の部分に関しては、ステージで説明する。足りなければもっと説明する。差別に関しては、諸事情で調べることはできない。
- A： 1 時になる前に、最後に言いたい。ステージや SNS という話ではない。オープン

ですといえば、オープンになるわけではない。セクシャルマイノリティの方が、このような企画に対して、抑圧を感じる可能性がある。オープンだから、というのは違うとを感じる。ステージや SNS 上で、差別を糾弾するようなステートメントをだして「ミスコンと言っているが、本企画はあらゆる性差別やルッキズムに対して断固として糾弾する企画である」というような、集会を開くのであれば、話は変わるが、主催側の目的（企画の PR したい）だけなら、難しいと考える。差別や抑圧を糾弾するステートメントを主催の側でかけるような、主催の素養があるように感じられない。構造を変えることを今年の 11 月祭でやるのは難しいと考える。差別や抑圧を追認することになる。

C： 司会の人に聞きたいが、休憩の時間帯を言ってほしい。

委員長：休憩の時間は、定めているわけではないが、3 つの論点に移り変わるタイミングにおいて、適宜休憩を取りたいと考えていた。最大で 3 つの論点について、2 時間を想定していた。

C： 次の開始は 2 時 7 分ごろか？

委員長：再開予定は 14:07。リンクはそのまま。ほかになにかあるか？ないため休憩に移る。

（休憩）

委員長：時間になったので、開始する。レジュメの 3 の A について話し合っていた。この件について何かあるか？A について、特に意見のある人はいないということでしょうか？

D： 先ほどから、B の人や A さんから構造の問題は意図にかかわらず、存在しているという話がされていた。それに対して、C は反論がされていない。構造の問題として、認識しているのか聞きたい。

C： 構造として、企画が何かしらの影響があることは理解している。多くの環境でやっている。この影響に関しては問題ないと思っている。

D： 構造というのは、本企画における構造だけではなく、今の社会の女性などに対する差別的な構造の話である。この企画の形態では、差別を無意識に再生産してしまう懸念があるという話だった。前提とする社会的な構造の認識について聞きたい。

C： この企画では、参加者の個人の自由でやっている。現代の課題を軽減する企画である。

D： 社会構造については、認識していると把握はした。構造的な課題をこの企画が軽減するというのは、参加者の募集において、性別選択を自由に行っているからだとして認識はした。前の議論でもあったが、枠組みに当てはまらない人が特殊な扱いをされると思うが、参加者に強制している面があると思う。強制された人がいないから問題ないというわけではない。企画が行われると、男女の二種類で企画が行われることに対して、性のあり方を固定させている。差別構造になっている。

この企画が差別を軽減するとは思えない。これについてはどう思うか？

C：むしろ企画がある方が、課題の解決につながると考える。ほかの大学とくらべると、誰でもオープンな形で参加している。現状の問題に関して解決の方向に向かうと考える。

D：今の発言だが、社会構造を背景とした、今回の企画が、差別構造の追認や再生産といわれるようなものがある方が、課題の解決につながるといわれたのがわからなかった。改めて説明してほしい。

C：ほかの大学と比べると、とある大学が男性や女性限定だったりする。こちらの企画はオープンであるため、差別は解決される方向になると思う。

D：ほかの大学と比べるとましだという方向性だと思ったが、そもそもそのような差別構造をもった企画が、やらない方がよいと思う。ほかの大学と比べてという話ではなく、京大でおこなわれるかもしれないこの企画が、差別構造を再生産する可能性があるため、やめるべきだと考える。1 つ聞きたいのは、差別構造を再生産する可能性があることは認識しているのか？それとも解決する方向だけしかないとおもっているのかどちらか？

C：この企画はトータルで見ると、よい影響の方が大きいと考える。

委員長：3 の A については、最大二時間と伝えていたので、14:46 には次に移りたい。

D：質問に答えてほしかった。今の C さんの発言を解釈すると、「差別的なものが振りまく可能性があるが、それよりも良い影響がトータルのには多いのではないか」になった。この解釈の上で発言すると、そういった差別が認められるという状況は特に公共の場である大学の学祭で、認められるべきでない。むしろ大学の社会的役割を考えると、そのようなことを許さない、としていくべきだと考える。これについては、強く批判したい。質問に回答してほしいのと、解釈が正しいのか教えてほしい。

C：解釈に関しては、少しずれている。内容やコンテンツを見たうえで、すべてを理解するリテラシーがあるとは言い切れない。違う解釈をされる可能性は 0 ではない。質問への回答だが、こちらが正しく伝えて、それを正しく理解されれば、解決につながる。

D：C が、どのように発信しているのかを言いたい。インスタを見る限りは、ミスターコンエントリーしている人はそのように書いてある。見る限りどちらかの性に振り分けられて、企画運営をされている。文字では、ジェンダー平等と書かれているが、今やり取りしている感じを見ても、理解があるように見えない。この場で、どんな内容を伝えているのか教えてほしいのと、社会構造の話をしたと思うが、すべて人が正しく理解するとか、可能ならば、差別は大した問題になっていない。向き合う難しさを理解していないと考える。正しく認識されれば問題ないであったり、間違った解釈する側が悪いというような運営の姿勢では、差別構造の追認に他ならないと考える。

- C： 大学生のリアルの部分、大学のオープンキャンパスとは違った、よりリアルな大学生の部分である。個別で面談して、本人の希望でそうしている。振り分けてはいない。差別構造の追認ではない。
- D： 面談でとか、そのように企画の中で性のあり方を、ミス・ミスターとしているから、何かしら言及しないとイケない構造である。それ自体が問題であると、いい加減認識してほしい。「差別構造の追認ではない」というのは C の認識だと思うが、運営側が認めるかどうかではなく、差別的なものになってしまう。
- E： 二点ある。1 点目トータルでいい影響と話していたが、プラスの方が多かったらやるという発想だと思うが、その考え方自体が、マイノリティを圧殺することにつながることを言うておく。2 点目、プラスの方を最低限明確にしてほしい。やってみてなんかプラスの方が大きいのだろうという意見はよくない。あえてミスコンを行うことが、プラスに移るのか教えてほしい。
- C： 影響について答えたまでだ。PR で始まっている。
- F： ジェンダーに詳しいわけではないが、今現在で企画の内容が不適切だという流れだと思うが、企画の内容を変更すれば、開催できていると思う。申し込みの段階と、お客さんに向けての両方で男女の区別をなくせばよいのではないかな？ 落としどころを探ればよいと思うが、それはダメかな？
- 委員長： A の論点について、少しのぼしたい。新たな観点が出たためだ。特に反対意見がないので、そのように進める。15:18 まで話し合いの方を続けたい。
- C： 提案に対しての返答だが、区別をする流れの方が一般的。例として、日本や世界で男女賃金差や女性管理職比率の改善が進んでいるなど、区別をむしろして、現状を把握して、解決するのが世界の流れ。提案に対しては、前提が違う。
- A： C の方の発言は見過ごせない。女性管理職比率の改善を例に挙げたと思うが、それはアファーマティブアクションの 1 つであって、現在抑圧を受けている層に対して能動的に働きかけを行っていくものだとも認識している。今回やっているミスコンは、まったく逆である。文脈が女性の客体化である。誤解されたらそう感じるかもねなどと言っていたが、そのような現状に対してなんら主体的能動的に女性の客体化がナンセンスだという話を一切することなく、注意や理解力の問題ですねと行って行うのは、論外だと思う。先ほど挙げていた例には当てはまらない。差別・抑圧・客体化である。これは個人の意見と思わないでほしい。差別者に対する糾弾を受け入れられないなら、さらなる差別である。F さんの提案が上がっているにもかかわらず、それに向き合っていない。二次的な加害行為です。差別に加担している。怒りをもっていつている。
- E： 女性管理職の話があったと思うが、アファーマティブアクション等本来は抑圧されている人々全員にあるべきものだが、実際に行うにあたって仕方なく区別している、という認識である。そのため、女性管理職等の施策ではジェンダーマイノリティまで同時に優遇するのは難しい。対して、今回の企画で男女で枠を正当化

するのは難しい。

C： 客体化の話を具体的にしてほしい。参加者の個人の意思に任せているので、企画が差別につながることはない主張するほかない。企画の内容と例を絡めないでほしい。

事務局：Cに対する質問は赤字「？」で、Cに発言が求められる時は議長の指名があるためそれでよい。

C： 議事録でこちらが発言する部分は明確にしてほしい。

事務局：質問は赤字にすることを努力する。

A： 例と企画内容を絡めないでとおっしゃっていたが、Cがだしていたので、当然からめた。いらない例を出さない方がよい。客体化の話だが、女性性の消費だと考えている。出場している女性だけの問題ではない。繰り返しにはなるが、Cが能動的に客体化だったり差別だったりに対して糾弾するようなステートメントをだしていない状態である種無批判にも受け止められる状態で女性が出場する。出場者本人が嫌な思いをしていなくても、周囲の方が女性として生活していて、さまざまな形でナンパなど、女性だから～というような抑圧を受けている人はミスコンのようなものを目にしたとき、自らの性が消費されていると感じてしまう。周囲の知り合いなどは、このような点に懸念を示していた。この問題点に向き合っているような気がしない。質問は、説明した女性の客体化について理解したのか？二点目は、女性の客体化が、再生産される状況を具体的に説明したが、理解したのか？3点目、性差別や女性差別を人生を振り返って向き合ったことはあるか？

C： 1点目は、あくまで大学のPRなので、問題自体起きない。2点目は再生産ではなく、現在の課題に対しての軽減。3点目は、オープンな企画で、個人の意識に合わせている。趣旨や内容と異なるため、あくまでも議論にとどめている。

委員長：一度切り上げて、最後にまたやる流れにしたいが、どうか？

B： この議題について、ここでおわる、そして後でやる流れなら、ぎじろくが全員見れることが大事だと思うが、見れない状況で再びやると、煩雑で、質問に答えられないことがある。議事録を見れるようにしてほしい。

事務局：こちらの議事録をメールで送るはどうか？

B： それでも良いが、リンクを送って、編集権限無しで閲覧者権限だけで共有するのはどうか？

事務局：少々お待ちください。zoomのコメントの方にリンクをおくったので、見てほしい。

委員長：なにかあるか？指名していく。返答はこの場では求めないとする。

C： 論点があるので、次に行った方がいいという意見である。バランスよく議論したい。

B： 次に移らないといけないかもしれないが、軽視できるような話ではない。重い議論である。先ほどのお答えを見ていると、性差別などの問題を軽視しすぎだと考

える。PRということを押し出しているが、そこに性差別がないと断言しているが、主催側がないといえる根拠がないように見える。ミス・ミスターコンテストという名前を使い、差別がないといえるのはなぜか？性差別の構造を生み出す恐れがあるとわかっているのに、なぜ論理的な説明がないのか疑問である。戻ったときにお答えしてほしい。

委員長：再度進行について確認する。時間が来たら、次の論点にうつり、それが終わったら、再度未解決の論点に戻る。

A： C が持っている差別意識との戦いになってくる。周辺の人間から、ミスコンがあるかもしれない、恐怖を感じているだったり、自分も考えて、そのような懸念がないとか、PR だからなど、論理的整合性がない、差別に向き合えていない回答しかない。残念である。C が抱えている差別意識に、もっと向き合えるような議論したい。いい加減向き合ってほしい。

委員長：次の議題に移る。Bに移る前に10分休憩を取りたい。15:46に再開したい。

(休憩)

委員長：時間になったので再開する。レジュメの3のBに移る。本論点は最大2時間であることを提示する。終わらなかった場合は最後にまた扱う。

C： 2時間目安でやると、6時ごろ夕食を挟むことになるがよいか？

委員長：21時に終了するなら、適度に休憩をはさんで、夕食休憩は挟まないとする。ただし、文学部第三講義室の都合上21時だったが、zoomの場合は、夕食の時間を取る代わりに、24時まで行うことがあってもよい。

C： もともと21時に終わると聞いていた。21時以降は予定があるので、参加できない。

委員長：Cの方が参加できないので、適宜10分程度の休憩を入れつつ、夕食休憩話とする。

C： 18時ごろに20分ぐらい休憩を入れてほしい。

委員長：異論がなければ、そのようにしたい。異論がないのでそのようにする。Bにうつる。現在は15:51なので、17:51まで行いたい。何かBについてあるか？

B： 他大学で、いわゆるミスコンがあって、それによる女性の客体化や商品化は出ている人にかぎらず、他の人も巻き込まれる。Cも理解していると思う。PRの能力、そこで商品化している。筋が通っていないことではない。自分たちを商品化するのは存在している。ミスコンにかかわるものは、そこではないPRが含まれている。ミスコンに、性別を商品化される印象があるのに、自分たちの企画はそれがないと言っている。自分たちの企画ではそれが有り得と思わなかったのか？

C： 他大学との企画とくらべて、コンセプトや運営の形態が違う。そのような問題が起こらないと思っている。商品化の部分だが、11月祭は企業の介入が禁止されている。よって、一般的な商品化はないと考える。

B： 考えは把握した。具体的に、コンセプトや運営形態を説明してほしい。そして、

なぜそれが違えば、性差別の再生産がおこらない理由になるのか説明してほしい。今の意見ではふんわりしている。性差別が起こりえない理由についての、具体的な説明がない。そして、商品化について、企業がお金を出して、性に対してお金をだす、商品化と思っているのなら、認識を変えてほしい。だれかに評価されたくないと考えているのに、評価されてしまうこと、これが最も問題である。そのように問題であると思っている人たちのことを考えているのか？そこに対してどう思うのか？質問は2つ。1 点目、性差別が起こりえない理由を具体的に教えてほしい。2 点目、人から評価されたくない人はいると思うが、なぜミス・ミスターコンという名前を使うのか？

C： 1 点目、起こりえない理由は、PR を行うことが目的だからである。このような学生がいるだったり、大学の魅力を伝えることが目的だからだ。2 点目について、1 点目と同様に、点数をつけるようなことはない。企画としての質問には当たらないと考える。

B： この議題の本質に移る。名前「ミス・ミスターコンテスト」をコンテストでないのに、名前を使うのはどうなのか？周りの人が「ミス・ミスターコンテスト」を見たら、人間の商品化が起こってしまう。説明している内容にもかかわらず、性差別が起こるのにつながっているのではないか？

C： 2 点ほど、事務面。議事録は一般公開されるのか？パスワードつきなのか？

委員長：議事録については、パスワードを付けたい人がいて、それが承認されれば、パスワード付きになる。それ以外は全体公開になる。

C： 鍵につきにしてほしい。

委員長：本会議が終わり次第、その話をする予定。

B： ひどくプライバシーにかかわる場合は鍵付きでよいが、全体に見えるように鍵付きにしないのはいかがなものか。最低でも事務局を通せばパスワードが知れる状態にするべきである。

D： 後で話せば良いのはそうだが、この会議自体全学に開かれたものであることと、今話している議題の公共性を鑑みると、一般公開されてまずいようなことは発言されるべきではないと思うので、その認識で続けるべきではないかと思う。また、C の方に対してだが、考える時間が必要ならそのように言って欲しいし、議論の中で事務的なことを何度も扱われては円滑性が損なわれるので、緊急の指摘以外は論点の間に事務的な指摘を挟んでほしい。議事録の担当者について指摘していたが、自分が議事録をよく読むという意識をすべきだと思う。事務的な指摘に全て対応しては議場が混乱するのでそのあたりは調整してほしい。

委員長：議事に戻るがよいか？Bに移る。

C： 性別によって何かしら制限を加えるなどはないため性差別の構造は無いと考えている。

B： 企画として、体裁をなしていない。差別構造に対してなんにも考えられていな

い。怒りを感じます。もっとあなたの生き方を考えた方がよい。こんなんでいいわけがないと思う。

G： 構造という話をしているが、この部分について C の理解が不足していると思う。構造というのは、コンセプトや意図を説明すれば、管理すればいいという問題ではないから、構造なので、そのような前提のもと、構造の話をしている。すべての話に、「管理すれば」、「正しく伝われば」と言っている。ミス・ミスターコンという性差を生み出してきたものを企画の名前としてつけることが、差別的構造をうみだす可能性があると考え。1つ目、構造という言葉の意味しているところを理解しているのか？そういった理解のもとで、「ミス・ミスターコン」という名前を使うことについてどう思うか？

C： 構造は理解している。そのうえで、新しい企画としている。構造の問題は起きない考える。2つ目に関してはすでに説明した通り。

G： コンセプトや内容の問題ではないといううえで構造の話をしている。それは大丈夫か？

C： 差別的な構造を取っていないので、大丈夫である。

G： 構造という話が、組織内の構造ではなく、他の人が言っているのは、社会の中の構造の話だ。「ミス・ミスターコン」が存在することによる影響の話をしている。「ミス・ミスターコン」がもつ差別的な意味が、社会的な問題となっているという意味である。それはわかっていただけるか？

C： 一般的に「ミス・ミスターコン」がもつイメージと、こちらで使う意味は違う。一般的な大学で使う言葉は議論するべきでない。こちらは違う意味で使っている。

G： 社会構造の話をしているので、切り分ける話ではない。NF に来る人などにとって、ミス・ミスターコンが与える影響の話をしている。受け取る人は切り分けることはできない。理解してもらえるか？

C： うちの企画が与える影響については、こちらで管理する。世間で抱かれている「ミス・ミスターコン」のイメージについて何かをすることは少ないと考える。

G： 構造という話をしているのに、あなたの意図は関係ない。京大に「ミス・ミスターコン」があるという存在に対して糾弾している。そういう意味で構造という言葉を使っている。これは理解しているか？また疑問はあるか？

C： 冒頭に説明しているが、「ミスやミスター」は英語圏での「～さん」という意味で使用している。前提が違う。

H： 私は現時点でミスコン賛成派でも反対派でもない。C に質問だが、名前を変えることはできないのか？自分の魅力を伝えるという趣旨だと理解している。だが、「ミス・ミスターコン」という名前を使うと、ミスリードが起ころうる可能性がある。なので名前を変えた方がよいのでは？ほかの方もそのような指摘だと考える。

C： 名前については、「ミス・ミスターコン」を使いたいと考える。PR に際して最適

な名前だと考える。ミスリードに関しては、ステージや SNS を通して解決する予定だ。

H： ミスリードそのものの存在は認めるという認識でよいのか？

C： ミスリード自体は、起こらないとは言い切れない。しかし、ステージや SNS 上での伝えることで、その問題は消えると考ええる。

H： 質問の答えになっていないと思う。ミスリードが多数発生しうることになっている状態になっていることについての意見が聞きたい。

C： インスタで告知したりしているので、その状態ではないと考える。客観的に起こりえることを説明してほしい。

H： ずれている気がしていて、ミスリードが起こってしまうのであればという話。改善可能というのはわかるが、公式 SNS などのフォロワー数も踏まえると、発信力は限定されていて、京大でミスコンをやるという話だけ出回っている。一般的なミスコンという、男女のランク付けを行う企画が出展されるというイメージがついてしまっていると思う。そこに関して話すのがよいのではないか。

委員長：その論点に絞って話すのはよいか？

A： 僕的には、ミスリードうんぬんとは思っていない。他大学使われている言葉の意味と、今回使用する言葉の意味はちがうという論理は通用しない。根底にミスコンやルッキズムに糾弾的な思想がない限りは、この論理が通用しないと思う。議論を今日中に出したくないように思える。余談だが、議事録の諸注意に個人名を書くように書いてあるが、個人名を書くように議長又は事務局側から言ってほしい。

委員長：注意事項でお願いしている通り、団体名だけでなく個人名も書いていただけると幸いです。本会議で後々全会一致で承認を取りたい。強すぎる言葉は使わないようにしてほしい。議論を円滑に進めてほしいと思う。前半について話したいと思うがよいか？

C： 団体として出ているので、個人名を出すのは不可能。

A： 諸注意にかいてあるのでは？

委員長：再度お願いしたい。

C： それには応じれない。

A： おかしいと思われる。人をなめていると思う。糾弾決議を上げたい。

委員長：注意事項は守ってほしい。ご協力お願いします。C について、個人名の併記をしない強い理由があればお願いしたい。

C： 団体として参加している。個人名が必要なら退出する。

G： 冒頭にも書いてある。約束の上で行っている。

C： 必須でしたら、退出したいと思う。

委員長：退出後、全学実行委員会場で話し合いは継続される。その時に、出展したいという人がいなければ、企画は中止になるという承認がとられてしまう可能性が高

いが、よいか？

C： その後の全学実での議論決議には異論がない。

委員長：C と 11 月祭事務局で話し合うと言っていたが、全学実行委員会は 11 月祭の最高意思決定機関であり、そこで中止の承認がとられれば、中止になることは確定となるが、それでよいか？

C： 異論はない。細かい話は、あとで事務局としたい。

委員長：個人名を書くか、退出することになるが、他に何かあるか？

C： 必須であれば退出します。

委員長：どちらかの対応をお願いします。

C： 退出します。議事録の鍵付きの話はどうか？

委員長：一番最後に承認を取る予定。議事録について鍵をつけるかいなか話し合いたい場合は、個人名の記載をしてほしい。

C： 退出という形をとる。

～～～C 退出～～～

委員長：今後について話をしたい。ただいまレジュメの 1,2,3 の途中部分まで話し合ったが、他にも論点があるが、特に「ミス・ミスターコンテスト」を開催したいという方や、議論をしたい人はいるか？

委員長：人がいなければ、中止の議決を取るがよいか？

A： お疲れさまでした。今回かたくなに名前を出さなかった。この件、いろいろ考えたが、名前をかたくなに出さないということは、就職活動でこの企画のエピソードをするつもりなのか、企業の差し金なのかどちらかだと思う。現代社会の病理的部分があると思う。毎度全学実にかけていくことが大事だと思う。

委員長：何か発言をしたい人はいるか？特にいないので、承認を取る。今年度の「ミス・ミスターコン」について中止を承認する人は挙手をしてほしい。全員の賛成が得られた、承認とする。

委員長：議事に沿って進めたが、他になにかあるか？

G： 先ほど、C が事務局と、事務的な手続きについて話し合うと言っていたが、最悪のケースの話をする。必ず議事録は見たい人が見れるような形にしてほしいと考える。

委員長：ほかに何かあるか？ないようだ。こちらの議事録はパスワードを付けずに全体に公開することとする。

委員長：本議事録の承認に移る。議事録にご異議はあるか？

事務局：議事録の公開の際には、個人の方は置換する予定だ。

G： 団体として B と G は参加しているが、分けてほしい。

事務局：団体で一つの意見として書いているため、分けて置換するのは難しい。申し訳ない。

G： 団体には、二人の参加者がいる。そのうち一人は前半部分、もう一人は後半部分

を主に発言しているため、その二人を明記してほしい。A,B など。その位置は本議事録 14 ページ上 3 分の 1 程度の部分。団体が連続している部分で前半後半が分かれている。それを明記していただきたい。

事務局：具体的な文言を教えてほしい。

G： 『企画として、体裁をなしていない。差別構造に対してなんにも考えられていない。怒りを感ずます。もっとあなたの生き方を考えた方がよい。こんなんでいいわけがないと思う。』この発言で分けてほしい。

委員長：議事録の承認に移る。承認する方は挙手を。全員の挙手が得られたので、承認とする。ほかに何かある方はいるか？ないようなので、第 7 回全学実行員会を終了とする。